

第1学年 美術科学習指導案

日時：平成17年 月 日（ ）

学級：1年 組 男子 名 女子 名 計 名

授業者：

1 題材名： 絵 『 みることのすばらしさ - 形・色の美しさ発見 - 』（静物画水彩）

2 題材設定の理由

（1）生徒観

1年 組の学習態度はおおむね意欲的である。1学期には平面構成を学習し、全般的にみると集中力をもって、粘り強く作品作りに取り組むことができた。

しかし、絵の具の表現に苦手意識をもっていて、毎回の活動に配慮が必要な生徒も見られる。

本題材では絵画表現の導入としてみること、描くことの魅力にふれる。思ったように表現できず、自信がもてない生徒には、自ら切り開くことができるよう導き、満足感、成就感を味わわせたい。そして、描くことの楽しさを改めて感じながら完成させ、自己の表現を実現させたい。

（2）教材観

学習指導要領では、1学年の表現の目標について、「造形的なよさや美しさを感じ取り、想像力を働かせて主題を表現する能力と態度を育てる。」と定めている。本題材ではこの目標に基づき、ものをじっくり観察し、新鮮な発見と驚きからそのもののもつ美しさや雰囲気工夫して表す態度を身につけることをねらいとしている。

今回の「静物画を描く」では、ものをじっくり見て、ものと対話しながら写生をする時間を大切に、自信を持って楽しんでものを描ける力をもたせるために設定した。

ただ単に客観的に見えるように描く力だけを育てるのではなく、内面的価値観や自分の情感とを結合させ、事物の中身を描くことに重点を置くようにしたい。事物を誠実に見つめ、対象の真実に迫り、自らの情感が結合するところまで引き込んだときに集中力を発揮し、すばらしい絵ができあがる。そして自信が付き、次の表現に対して意欲が高まるだろうと考える。

（3）指導観

絵の表現の基礎・基本を学習する題材として静物画は扱いやすく、最もポピュラーであるが、無目的に表現活動に入ってしまうと学習が深まらず、中途半端になってしまったり、絵の表現に対して苦手意識をもってしまう可能性もある。学習の節目毎に、現時点での課題の把握と目標の再確認を行い、つまづきを見逃さず支援したい。

題材の導入時は絵づくりの魅力を全面に出し、共感できる資料や視覚的に強く訴える手法を用いて、新鮮で刺激のある題材との出会い演出したい。机間個別指導では、成長したところや発見、気づきなどをほめ、活動学習意欲を高めるように学習を展開したい。

3 題材目標

- （1）自然物の中にある美しさやおもしろさを発見し関心を持ち、その内容を表現することに対して意欲的に制作に取り組む態度を育てる
- （2）観察の仕方を工夫し特徴を捉え、存在感や雰囲気を表現するための構想を練ることができる

- (3) 対象のもつよさを創造的に表現する技能を培う
- (4) 作品を深く味わい、表現の工夫やよさを感じ取れる力を育てる

4 指導計画

- (1) スケッチ・構想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間（本時 1/10）
- (2) 下絵作り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) 着彩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5時間
- (4) 鑑賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 評価規準

別紙参照

6 本時について

- (1) 主 題 静物画の魅力
- (2) 目 標 ・静物画の魅力を知り、意欲的に授業に参加することができる
 ・自分の考えをもってグループで話し合い、モチーフを選び、構成を工夫することができる

(3) 指導の構想

題材導入なので期待や意欲の持てるような題材の提示と資料を吟味し、パソコンによる鑑賞プレゼンテーションを行い、できるだけ意欲視覚に訴えるように資料を加工し、提示を効果的に行う。

また、お互いを認め合い、学びあえる場を設定し、絵を描くことに対して苦手な意識のある生徒も楽しく参加させたい。

生徒一人ひとりが自信を持って本題材に取り組めるように、鑑賞後の感じたことを発表する場面では視点のよさを見逃さず取り上げ、モチーフ探しや構成する場面では、試行錯誤する場面において生徒自身の目で発見し。決定できるよう支援し、次回の静物スケッチに期待をもてるよう意欲を高めたい。

本題材では、絵の魅力、構図の魅力を知り、絵を描く基礎・基本事項を学習し、絵を完成させる。表してみたいテーマを探らせながら生き生きと活動させたい。

(4) 具体の評価規準

	具体の評価規準		
	A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C（努力を要する生徒への手だて）
関心・意欲・態度	(1)ねばり強くいろいろな角度から観察を試し、自分なりの形のおもしろさを見つけ、よく考え選んでいる	(1)対象の形を観察し、考えながら選んでいる	(1)対象の形をよくみて、形の面白さをとらえようとするよう支援する
発想や構想の能力	(2)テーブル上の空間を有効に使い、ものとももの関係を考えながら構成を工夫して並べることができる	(2)構成を工夫して並べようとしている	(2)構成を工夫できるよう、テーマを意識するよう支援する
創造的な技能	(3)形や色など対象の特徴を、視点を工夫して見つけることができる	(3)視点を工夫している	(3)形の美しさを見つける視点を工夫できるよう支援する
鑑賞の能力	(4)自分の創造活動のもとになる心の動きも見つめ直し新たな発見をしている	(4)作品から感じられるつくり手の心や欲求をまとめている	(4)作品を生み出す、人間の心や欲求について想像することができるよう支援する

7、本時の展開

段階	学習課程	生徒の活動	教師の指導・支援	評価・備考 =評価
導入 15分	1 復習	1 前課題の復習	前回学んだ よく見て 丁寧に描くことを土台に今日から新しい学習を確認	・前回の鉛筆デッサンを紹介 デジタルカメラを使い、前回の作品の振り返り
	2、題材導入	2 静物画鑑賞 静物画の魅力とは？ ・画家を紹介「高橋由一」 ・静物画鑑賞 高橋由一 「豆腐」 「鮭」 ・魅力的なものを見つけて、ものの並べ方を工夫して描く楽しさ 静物画鑑賞 高橋由一 「厨房具」	静物画の魅力とは？ ・・・画家は何を描いてみたのだろうか？ この絵を見て何を感じる？ ただそっくり描きたかったのかな？ 豆腐の特に何を描いてるかな？ 画家のモチーフを見つめるまなざしに気が付かせる ・身近なものをみつめ、発見したおもしろさや発見した美しさを描く この絵を見て何を感じる？ 何を描いているかな？ 何を工夫しているのかな？	プレゼンテーションソフトを使った提示(名画鑑賞と解説) 絵づくりの楽しさに迫る鑑賞資料を用意 名画作品を見てそれぞれ作品のよさやおもしろさを感じることができたか
	3 モチーフとの出会い		簡単にモチーフの紹介	モチーフとの出会いの演出
	4 学習課題の設定	4 学習課題を設定する	学習課題「絵づくり」 こんな風に描いてみたい・・・描きたいモチーフを選び、並べてみよう	
展開 30分	5 モチーフ観察 モチーフ選び モチーフ探し	5 ㊦-㊦の観察 (手で触れて・見つめる) ㊦-㊦探し・㊦-㊦選び テーマを決めて選んでみよう 静物画鑑賞 デ・キリコ 「愛の歌」 主役と脇役を考えて選ぼう どんなテーマで選んだのか発表 主役・脇役えらびについて何を考えたのかを発表	自分にとって魅力的なモチーフを見つけよう ・1つひとつ個性があることに気づかせる ・質感も感じるように 主役と脇役を選ぼう 全くあり得ないもの同士の出会い 手にとって近くで観察し、材質(質感)を確かめるよう指示	デジタルビデオカメラを使い、観察の例(視点)を紹介 協力して自分なりの考えを持って㊦-㊦を探し、選ぶことができたか(学習カード)
	6 構成	6 モチーフの並べ方を考える(構成) 班で意見を出し合い、協力して班員みんなが魅力的に見える構成を考える 静物画鑑賞(名画の構図)	グループで協力して リズム・動き バランス 線を意識して並べてみよう(構成) どの位置から描くのかな?視線の位置 3次元でみよう 構成の基本提示 リズム(動き) バランス 線	デジタルビデオカメラとプレゼンテーションソフトを使って構成の基本を説明 協力して自分なりの考えを持って㊦-㊦を構成することができたか(学習カード)
終末 5分	7 まとめ	7 本時のまとめ 自己評価	何を学んだか感想を発表 ・試行錯誤し、仲間と意見を交わしながらモチーフを選び、並べる(構成する)ことができたか。 ・学習カードのまとめ	自分の今日の活動を見つめ、今日の授業の成果・反省をし、発表したり、学習カードにまとめることができたか
	8 次時の予告	8、現在の並べ方をデジカメで記録し、次回も構成を復元できるようにする	前後ろ2方向から写す、 来週描きたいものがあれば持ってきても良いことを通知	